

# ちば 県議会だより NO.153

党派別議員数	
自民党	54人
民進党	19人
公明党	8人
共産党	5人
市民ネット・社民・無所属	4人
千翔会	2人
護憲保守の会	1人
千葉県民の声	1人
いんば無所属の会	1人
定数95人 現員95人	(平成29年1月1日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043(223)2523 千葉県議会 検索

## 県立関宿城博物館 (野田市関宿三軒家143-4)



県の最北端、利根川と江戸川の分岐点のスーパー堤防上にある県立関宿城博物館は、平成7年に開館しました。天守閣部分は、かつての関宿城を再現したもので、毎日30分間ライトアップが実施されています。

「河川とそれにかかわる産業」「関宿藩と関宿の歴史など」についての紹介と模型や映像を用いた展示は、家族で楽しく学ぶことができます。博物館セミナーや体験教室なども開催要申し込み。平成29年2月12日(日)までは、関宿城百景写真展を開催中です。

**交通** 圏央道境古河ICから13分または東武アーバンパークライン川間駅から境町行きバスで関宿城博物館下車

**開館時間** 9時～16時30分(入館は16時まで)

**休館日** 月曜日(祝日または振替休日の場合は開館し、翌日休館)

**問い合わせ先** 関宿城博物館 04-7196-1400 FAX 04-7196-1373

## 十二月定例会県議会のあらまし

十二月定例会県議会は、十一月二十五日に招集され、十二月二十日までの二十六日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、平成二十八年度一般会計補正予算等の議案四十二件、報告一件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

十二月一日の質問初日には、議員発議による「千葉県子どもを虐待から守る条例」(発議案第一号)が上程され、提出者の趣旨説明が行われました。

十二月一日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十五名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、雇用・労働問題、防災対策、いじめ問題、医療・介護等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、十二月十二日から四日間にわたり開催され、付託された議案・請願・発議案第一号について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、決算審査特別委員会の委員長報告、討論が行われ、採決の結果、平成二十七年度決算は認定されました。

続いて、各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案及び発議案については原案のとおり可決されました。

また、人事案件十四件が追加上程され、知事の提案理由説明の後、採決の結果、同意されました。また、発議案(意見書)十四件が上程され、そのうち三件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

## 代表質問

※質問項目は、紙面の都合上一人六項目以内で掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

## 平成29年2月定例会県議会 2月7日(火)～ 代表質問が始まります!

**テレビ&インターネット中継**

平成29年2月定例会県議会は、2月1日(水)に開会し、7日(火)から代表質問が始まります。

チバテレビでは代表質問と予算委員会の模様を、インターネットでは会期中の本会議全てと予算委員会の模様を、生中継で見ることができます。チバテレビには平成28年12月定例会より、手話通訳が挿入されました。

また、傍聴を希望する方は、当日、議会棟1階受付に直接お越しください。

千葉県インターネット中継 検索

※平成29年2月定例会県議会の日程は3面をご覧ください。



共産党  
寺尾 賢 議員  
(千葉市花見川区)

- 知事の政治姿勢/木更津駐屯地のオスプレイ整備拠点化
- 国民健康保険の広域化
- 障害者の権利
- ちば「働き方改革」共同宣言
- 子どもの貧困問題と子ども食堂
- 産休、長期療養などの代替教員配置



公明党  
田村 耕作 議員  
(千葉市花見川区)

- 医療・介護
- 動物愛護
- 千葉市臨海部の活性化
- スポーツ振興
- 教育問題
- 薬物対策



民進党  
天野 行雄 議員  
(千葉市稲毛区)

- 労働問題
- いじめ問題
- 地方創生総合戦略の評価
- 地域医療再生基金の評価
- 談合問題
- 山武地域での土木工事に係る
- コンプライアンスの推進



自民党  
瀧田 敏幸 議員  
(印西市)

- AED及び心肺蘇生法の普及促進に係る基本計画
- 指定廃棄物の長期管理施設
- 印旛沼・手賀沼の水環境
- 農林水産業の振興
- 北千葉道路
- いじめ・不登校問題

ちば県議会だより

# 代表質問から

## 財政健全化計画

財政健全化計画のこれまでの取り組み状況はどうか。

県では、これまで、同計画に基づき、県税の徴収対策の充実・強化などによる自主財源の確保や、徹底した事務事業の見直しなど、歳入・歳出両面にわたり財政の健全化に取り組んできた。

その結果、建設地方債等の実質的な残高は、毎年度、減少するとともに、財政調整基金の平成二十八年度末の残高は、九月補正段階において目標額である三百億円を確保できる見込みである。

また、財政の健全性を示す指標である健全化判断比率は、常に全国平均よりも良好な水準を維持している。

こうしたことから、計画に掲げた三つの基本目標は達成できる見通しであり、着実な成果を上げているものと認識している。

## 総合計画

総合計画全体の進捗状況はどう受け止めているか。

県民のくらしの安全・安心については、移動交番車の運用や、犯罪ボックスの設置などにより、犯罪抑止に取り組んだ結果、刑法犯認知件数が十三年連続で減少した。

一方、子育て支援の面では、市町村と連携し、保育所の整備などに取り組んだ結果、定員数は大幅に増加しているが、共働き世帯の増加などにより保育ニーズが増加し、平成二十八年四月一日現在で、待機児

## 障害者差別解消法

県として行政の窓口などで周知を進めるなど、さらなる取り組みが必要だと思いませんか。

障害者差別解消法の施行に当たり、窓口での対応が想定される新規採用職員や管理職向けの研修を行った。

また、法や条例のパンフレットやそのマンガ版のほか、「障害のある人に対する差別と望ましい配慮に関する事例集」を作成し、市町村に配布するとともに、障害者条例に基づく広域専門指導員が周知啓発に活用している。

今後も、障害のある人への合理的配慮が図られるよう、一層の周知啓発に努めていく。

## 社会福祉センター

千葉県社会福祉センターの再整備について、早急に取り組むべきかと思いませんか。

千葉県社会福祉センターでは、県内の福祉団体によるさまざまな福祉活動やボランティア活動への支援などが行われ、本県の社会福祉の推進に大きな役割を果たしている一方で、その施設については老朽化が進み、耐震性も不十分な状況である。

また、少子高齢化の進展等、昨今の社会状況の変化に対応するため、社会福祉センターには、県民の地域福祉活動の推進や福祉人材の養成・確保、災害時の福祉的支援の拠点としての機能の強化が必要となっている。

そのため、県では、社会福祉センターを県立施設として、新築で整備することとした。

今後は、早期の事業化に向けて進めていく。

## カミツキガメ

印旛沼周辺におけるカミツキガメの捕獲実績はどうか。

県では、毎年、カミツキガメの活動時期である五月から十月にかけて捕獲作業を行っている。

特に、平成二十八年度は、捕獲強化に取り組んだ結果、過去最大の約千四百頭を捕獲した。

そのうち、メスは約七百頭で、県の推計で生息数を減少させるために最低でも必要とされた千二百五十頭の捕獲には及ばなかった。

このため、県では、専門家の意見も聞きながら、さまざまな生息場所に合わせた捕獲方法の開発、ワナ設置数の大幅増加、冬眠している間の捕獲方法等についても検討している。

## 労働相談

現在、具体的な労働相談に関する取り組みや広報啓発活動はどのように行っているか。

県の労働相談センターは、常設の相談窓口として、平日午前九時から午後五時まで、電話及び面談により、その後夜八時までは電話による相談を実施しており、また、県労働委員会は、「個別労働関係紛争処理制度」の周知月間にあわせて、労働相談会を実施している。

広報啓発については、ホームページやちば県民だより、チラシなどの活用に加え、平成二十八年度は、若者に対する広報啓発を強化するため、県内大学二十六校の入学式におけるチラシ配布や、七月からインターネット労働相談を開始した。

今後も、より多くの方に利用してもらえるよう、相談体制や広報の充実に取り組んでいく。

## 水田基盤整備

水田における基盤整備事業をどのように進めようとしているか。

本県の水田農業は、稲作の技術向上や品種改良とともに、用排水施設の整備や三アールを標準区画とした基盤整備により、労働時間低減と収量・品質の向上を達成してきたと認識している。

しかし、食の多様化などにより、米の消費量が減少していることから、地域農業の振興を図るために

は、担い手への農地の集積、集約による生産コストの削減や収益力の高い作物を導入するなど、将来を見据えた地域の営農構想に基づいた基盤整備が必要である。

## 防災対策

平時の今こそ、緊急輸送道路沿線の建築物の安全性を確保することが重要だと思いませんか、知事はどのように考えているか。

地震発生時に主要道路の安全性を確保し、救援・救護活動や緊急物資の輸送に対処するため、沿道の建築物が倒壊することにより道路を閉塞しないよう耐震化を進めることは、大変重要であると認識している。

そこで、千葉県耐震改修促進計画において、千葉県地域防災計画で定める緊急輸送道路を、沿道の建築物の耐震診断や耐震改修の促進を図ることが必要な道路として位置づけ、建築物の耐震診断に補助を行う市町村に対し助成を行うなど、耐震化に努めている。

これら対策の結果として、危険ドラッグの検挙人員は、平成二十八年十月末現在十七人で、前年同期に比べて約三分の一に減少しており、さらに、平成二十八年に入って危険ドラッグに起因する事件や事故の把握もないため、県警察としては、一定の成果があらわれたものと考えている。

## 薬物対策

近年、若者を中心とした危険ドラッグの乱用が社会現象となり、本県でも、平成二十七年「千葉県薬物の濫用の防止に関する条例」を制定するなど各種対策を講じてきたと思いませんか、その後の対策と現状はどうか。

県警察では、県との連携により、県内の危険ドラッグ販売店舗を二掃し、平成二十六年十月から現在まで、営業を確認している店舗はない。

しかし、販売形態がネット通販やデリバリー方式に潜在化していることから、引き続き、県など関係機関と強力に連携を図り、実態把握・取り締まり・広報啓発を危険ドラッグ対策の三本柱として推進している。

これら対策の結果として、危険ドラッグの検挙人員は、平成二十八年十月末現在十七人で、前年同期に比べて約三分の一に減少しており、さらに、平成二十八年に入って危険ドラッグに起因する事件や事故の把握もないため、県警察としては、一定の成果があらわれたものと考えている。



可決・同意された議案

- ◆平成二十八年度補正予算(五件)
  - ▽一般会計
  - ▽特別会計(四件)
- ◆条例の一部改正(六件)
  - ▽職員の給与に関する条例等
  - ▽特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例
  - ▽職員の退職手当に関する条例
  - ▽使用料及び手数料条例及び千葉県立都市公園条例
  - ▽千葉県生涯学習施設設置管理条例
- ◆条例の廃止
  - ▽千葉県地域医療再生臨時特例基金条例
- ◆その他(四十四件)
  - ▽契約の締結(八件)
  - ▽契約の変更(二件)
  - ▽和解
  - ▽調停
  - ▽当せん金付証券の発売
  - ▽指定管理者の指定(十七件)
  - ▽教育委員会委員の任命(二件)
  - ▽公安委員会委員の任命
  - ▽収用委員会委員の任命(六件)
  - ▽土地利用審査会委員の任命(五件)
- ◆議員提出条例
  - ▽千葉県子どもを虐待から守る条例

各常任委員会の  
主な質疑から

総務防災常任委員会

**問** 軽油引取税に係る地方税法違反事件について、脱税の立証ができない場合は告発に至ることは少ないと聞く。

**答** 今回、全国で初めて、脱税ではなく免税軽油の虚偽報告により販売店等を告発したのはなぜか。

**答** 本事件は、不正行為を行ったのが納税義務のない販売店側であったため、脱税の罪を問うことは困難であったが、その不正行為が長期的・組織的に行われるなど極めて悪質であり、刑事責任を問うべき事案であること、さらに、同様の不正行為の全国的な横行を抑止する必要があることから、資料分析や関係者への聴取等により事実を解明し、免税軽油の虚偽報告に係る罪などを適用して告発した。

総合企画水道常任委員会

**問** 東日本大震災時には、妙典給水場で水道局職員が水道水を非常用飲料水袋に入れて被災者に配っていたが、今後同様の対応をしていくのか。

**答** 県営水道では、災害時に断水が発生した場合、浄水場・給水場等で応急給水を行うこととしている。

健康福祉常任委員会

また、非常用飲料水袋を約十一万枚備蓄する等、応急給水用資機材の充実にも努めている。

**問** 「千葉県子どもを虐待から守る条例」について、児童虐待防止法が既に制定されている中で、県として条例を制定する意義をどう考えているのか。

**答** 県行政の責任を明確にし、市町村を初めとした関係機関との早急な連携と、一層の連携強化の方針を打ち出すため、県全体で児童虐待撲滅を目指す具体的な指針となる条例と考えている。

環境生活警察常任委員会

**問** 「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」について、県民にどのように周知していくのか。

**答** 市町村等への説明会の開催、チラシなどの配布により、周知・啓発の協力を依頼した。今後は、学校などへの周知依頼に加え、官民の推進組織である千葉県交通安全推進対策委員会に自転車部会を設置するなど、オール千葉県で自転車の安全利用に取り組んでいく。

商工労働企業常任委員会

**問** ユネスコ無形文化遺産に登録された佐原の山車行事と北総四都市の日本遺産を合わせ、広域的な観光プロモーションを実施すべきと思うがどうか。

**答** 県では、伝統的な行事などの文化財も含めた北総四都市の魅力観光パンフレットなどで積極的にPRしているほか、圏央道開通を活用した観光プロモーション事業では、日本遺産を取り入れた新規バスツアーの造成を促進している。今後も、こうした魅力を積極的にPRし、広域的な観光商品の造成を働きかけていきたい。

農林水産常任委員会

**問** 高病原性鳥インフルエンザに対する本県の発生予防対策はどうか。

**答** 養鶏農家に立ち入り、防鳥ネットなどの設置や、農場に入りする関係車両への消毒を徹底した。また、監視体制強化のため、農場への定期的な検査や、死亡羽数の報告を求めるとともに、野鳥のウイルス保有調査を実施している。

県土整備常任委員会

**問** 橋梁、横断歩道橋、トンネルについて、長寿命化対策の今後の取り組みはどうか。

**答** 長寿命化修繕計画は、損傷があらわれる前に対策を講じる予防保全とするもので、橋梁については、既存計画を改訂し、横断歩道橋及びトンネルについては、新たに計画を策定した計画に基づく修繕により、道路施設の長寿命化を図っていく。

文教常任委員会

**問** 通学路の交通安全確保に関する国からの通知を受け、県

はどのように対応していくのか。

**答** 学校、道路管理者、警察等が連携した推進体制や通学路安全プログラムが、ほぼ全市町村で整備され、定期的な合同点検と通学路の安全対策が講じられている。

県としては、通学路の継続的な安全対策が講じられるよう、今後も、市町村に働きかけていく。

予算委員会の設置

2月定例県議会において県の新年度予算及び関係する議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。

平成28年度予算委員会委員名簿 平成29年1月25日現在

自 民 党	◎ 西田三十五	○ 木下敬二
	○ 鈴木野衛	○ 山松中浩
民 進 党	○ 佐野彰	○ 山下浩
	○ 内田悦嗣	○ 本下しげ
公 明 党	○ 中沢裕隆	○ 村呂中
	○ 五十嵐博文	○ 茂中屋
共 産 党	○ 矢崎堅太郎	○ 網守貴
	○ 大崎雄介	○ 山 秀 明
市民ネット・社民・無所属	○ 秋林貴史	○ 横 山 秀 明
千 翔 会	○ 加藤英雄	
護 憲 保 守 の 会	○ 水野友貴	
千 葉 県 民 の 声	○ 西尾憲一	
いんば無所属の会	○ プリテイ長嶋	
	○ 岩井泰憲	

◎委員長 ○副委員長

平成29年2月定例県議会 会期及び議事・委員会予定

月 日	議事・委員会予定	開議予定時間
2月1日(水)	開会日 <b>TV</b>	午前10時～
7日(火)	質疑並びに一般質問 <b>TV</b>	//
8日(水)	// <b>TV</b>	//
9日(木)	// <b>TV</b> (午前のみ)	//
10日(金)	//	//
13日(月)	//	//
14日(火)	//	//
16日(木)	予算委員会 <b>TV</b>	午前10時30分～
17日(金)	// <b>TV</b>	//
20日(月)	// <b>TV</b>	//
21日(火)	常任委員会(総務防災・総合企画水道)	午前10時～
22日(水)	// (健康福祉・環境生活警察)	//
23日(木)	// (商工労働企業・農林水産)	//
24日(金)	// (県土整備・文教)	//
3月1日(水)	閉会日	午後1時～

**TV** ……ちばテレビで生放送(手話通訳つき)があります。ぜひご覧ください。



「子どもを虐待から守る条例」を可決 (平成29年4月1日施行予定)

12月定例県議会において、議員提案による「千葉県子どもを虐待から守る条例」が賛成多数で可決されました。

●条例概要

この条例は、児童虐待による痛ましい事件がいまだに全国で相次ぎ、本県の児童虐待相談対応件数も全国上位であることなどから、「全ての子どもが虐待から守られ、幸せを実感しながら成長できる千葉県」を目指して、県や県民、保護者などの責務や役割を明らかにしつつ、子どもを虐待から守るための施策等を推進し、もって子どもたちが健やかに成長できる社会の実現に寄与することを目的としています。

条例の特徴としては、県行政の責務を明確化し、児童虐待防止法の努力義務の一部を義務化しました。

また、児童相談所の体制整備や関係機関等との一層の連携、教育現場における児童生徒に対する教育的取り組みの推進、虐待の発生予防に資するとされる母子保健施策等の市町村が行う施策や関係機関の取り組みへの支援、さらに、虐待を受けた子どもに対する社会的養護の充実などを定め、オール千葉県で子どもへの虐待の防止等を図ることとしています。

(二面より続き)

可決された意見書

- ▽ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書
- ▽高病原性鳥インフルエンザ対策の強化を求める意見書
- ▽地方防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

採択された請願

- ▽県立佐原病院の早急な整備・充実を求めることについて
- ▽千葉県生涯高等学校の充実を求めることについて(第一項～第三項)



ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

十二月三日(金)



自民党 内田 悦嗣 議員 (浦安市)

河川環境整備  
県営水道における震災対策  
障害者スポーツ・レクリエーションセンター  
道路のバリアフリー

十二月五日(月)



自民党 小路 正和 議員 (いすみ市)

サーフィン会場周辺の環境整備  
水産業の振興  
公衆無線LAN環境の整備  
外房地域の交通アクセス



公明党 赤間 正明 議員 (市川市)

未就学児のアレルギ対策  
サンブスギ林の再生  
市川水路沈没船  
(仮称)妙典橋



自民党 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市)

道路問題  
学校における組体操  
治水対策  
有害鳥獣問題



民進党 竹内 圭司 議員 (千葉市緑区)

高齢運転者対策  
千葉県動物愛護条例施行の状況  
受動喫煙防止対策



自民党 中沢 裕隆 議員 (柏市)

インバウンドの促進  
女性が働きやすい環境づくり  
AI研究開発拠点整備  
いじめ問題

十二月六日(火)



自民党 信田 光保 議員 (銚子市)

海洋再生可能エネルギー  
水産振興  
生涯大学校  
道路整備



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

TX沿線土地整理事業  
(仮称)三郷流山橋  
不妊治療対策  
生涯大学校



民進党 守屋 貴子 議員 (市川市)

子ども施策  
食品ロス削減への取り組み  
行徳湿地  
赤レンガ倉庫と血清研究所



民進党 網中 肇 議員 (千葉市中央区)

県税の徴収率向上  
各消防本部でのパワハラ解消  
国民健康保険の運営状況の改善  
県有地の不法占有の解消



自民党 茂呂 剛 議員 (八千代市)

東葉高速鉄道  
防災・災害対策  
福祉政策・環境問題  
道路問題

十二月七日(水)



自民党 白井 正一 議員 (千葉市美浜区)

医療費の適正化と統合医療  
千葉県社会福祉センター  
(仮称)JFANAシヨナルフットボールセンター  
幕張新都心拡大地区への新駅設置



自民党 戸村 勝幸 議員 (香取郡)

農業問題  
道路問題  
成田空港  
「佐原の山車行事」の無形文化遺産登録



民進党 大崎 雄介 議員 (船橋市)

児童相談所  
保育所  
水産業  
県警の防犯情報発信



市民ネット・社民・無所属 藤代 政夫 議員 (鎌ヶ谷市)

知事の政治姿勢/オスプレイ  
憲法遵守・原発事故  
三番瀬の保全事業計画評価からみる課題  
教員の長時間労働と臨任教員の課題  
北総鉄道の千葉ニュータウン鉄道への使用料



自民党 森 岳 議員 (木更津市)

港湾事業  
水産業の振興  
待機児童対策  
地域医療構想



民進党 石井 敏雄 議員 (八千代市)

学習指導要領の改訂と小中学校の英語教育の充実  
ナガエツルンゲイトウほか困りもの対策  
印旛沼地域の排水管理  
八千代市内の道路・里山活動



自民党 木下 敬二 議員 (南房総市・安房郡)

消防  
農業  
水産業



自民党 阿井 伸也 議員 (大網白里市)

県内水道の統合・広域化の進捗  
つくり育てる漁業と本県水産業  
圏央道及び周辺のアクセス道路  
九十九里浜の津波対策・浸食対策



千葉県民の声 プリティ長嶋 議員 (市川市)

千葉県産農産品の輸出拡大  
ちばアクアラインマラソン  
AED  
九十九里浜の海岸対策

決算審査特別委員会



平成27年度一般会計及び特別会計の決算について、8回にわたり審査が行われ、決算書のとおり「認定すべきもの」と決定しました。



自民党 阿部 紘一 議員 (千葉市稲毛区)

情報公開  
看護問題  
がん対策  
道徳教育

12月定例県議会 知事あいさつ

今回提案いたしました案件は、平成28年度の補正予算案、各種条例案及びその他附帯議案の42議案のほか、報告1件です。

◎平成28年度一般会計補正予算案

平成28年度一般会計の補正予算案は、国の補正予算や台風9号による被害などに、緊急に対応するものです。補正額は、199億1,205万余円の増額で、補正後の予算額は、1兆7,393億3,320万余円となります。

◎ちばアクアラインマラソン2016

地元の皆様、県議会議員の皆様のほか、関係各位の御理解、御協力をいただき、盛況のうちに大会を終えることができたことに、あらためて御礼を申し上げます。

大会当日は、好天に恵まれ、国内外から約1万6千人のランナーが、東京湾アクアラインの絶景と秋の房総路を走る爽快感に御満足いただけたものと思います。

今大会では、障害者スポーツへの関心を高めるため、車いすハーフマラソンを正式種目として実施し、リオデジャネイロパラリンピックに出場した選手にも参加をいただきました。間近で見るトップランナーのパフォーマンスに多くの方が魅了されたものと思います。

また、今回は、480人もの外国人ランナーが参加しており、千葉県産品を味わえるブース展開などを通じ、千葉の魅力を海外にも発信することができたと考えています。

この大会の成果を活かし、引き続き、スポーツの振興を図るとともに、千葉の魅力を国内外に発信してまいります。

◎ユネスコ無形文化遺産への登録

先月31日、我が国の「山・鉾・屋台行事」について、ユネスコ無形文化遺産への登録が勧告され、近いうちに、ユネスコ政府間委員会で、正式に登録される見通しとなっています。

「山・鉾・屋台行事」は、我が国の国指定重要無形民俗文化財33件で構成されており、この中には、香取市の「佐原の山車行事」が含まれています。本県の文化財でユネスコ無形文化遺産に登録されるのは、初めてのことであり、と



ても喜ばしく思います。「佐原の山車行事」は、本年文化庁に認定された日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」の構成文化財ともなっており、これらの文化遺産を大いに活用しながら、本県の観光振興につなげてまいります。

◎北千葉道路

外環道と成田空港を最短で結ぶ北千葉道路は、本県のみならず我が国にとって大変重要な道路です。

北千葉道路建設促進議員連盟におかれましては、今月15日、国土交通省の幹部をはじめ様々な関係者に、早期の直轄事業化や西側区間の有料道路事業活用などについて要望されたところであり、私も沿線7市の皆様とともに、21日、石井国土交通大臣に要望してまいりました。

石井大臣からは、議員連盟の皆様のお力添えもあり、「関係者との協議の場を設け、有料道路事業を活用した整備案をまとめた」との前向きな発言をいただいたところです。今後、県としては、関係機関との調整を進めるとともに、国の調査に積極的に協力し、県議会の皆様や地元市と一体となって、早期の直轄事業化を目指してまいります。

そのほか、平成28年度一般会計補正予算案、条例の一部改正等、議案についての概要説明がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索